

新「山形県立河北病院経営健全化計画」の概要

令和4年3月
病院事業局

1 策定の趣旨

- ・ 病院事業会計の資金不足解消のためには、資金不足の大部分を占める河北病院の経営改善が重要であり、令和元年に「河北病院経営健全化計画」を策定し、経営の健全化を推進してきた。
- ・ 地域の医療ニーズの変化に対応して、診療体制の見直しを行うとともに、組織体制のスリム化を含め、経費の削減を進めてきたが、常勤医師数の減少もあり、患者数や収益の減少が続いており、大幅な経営改善に至っていない。
- ・ 令和4年度以降についても、これまでの取組みの経過や病院経営を取り巻く環境の変化を踏まえた新たな「河北病院経営健全化計画」を策定し、資金不足解消に向けた経営健全化の取組みを推進する。

2 計画期間

- ・ 中期経営計画と同様に、令和4年度から令和7年度までとする。

3 経営健全化の基本方針

- ・ ミッション「地域の基幹病院として質の高い信頼される医療を提供する」
- ・ ビジョン「地域医療を支えられる健全な病院経営を目指す」

4 経営の現状

○西村山地域の人口動態

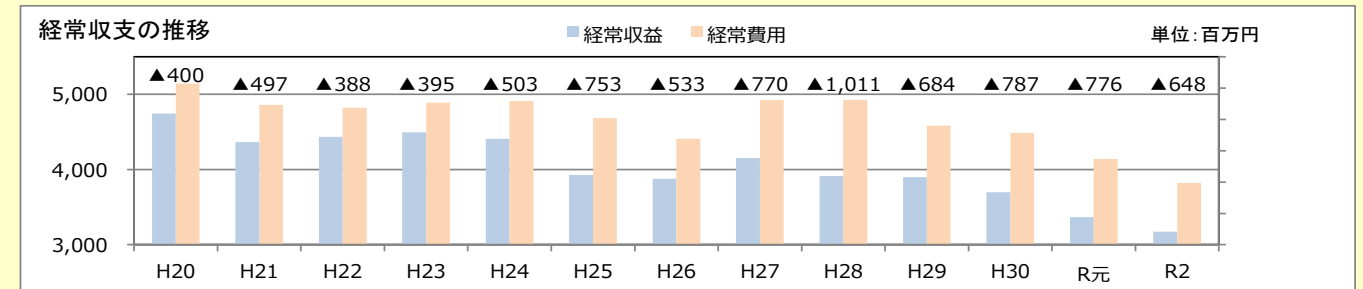
(総人口) H12年 92,118人 → R2年 76,798人 → R7年(推計) 72,007人
(65歳以上人口) H12年 23,506人 → R2年 27,664人 → R7年(推計) 23,413人

○患者動向

(入院) 地域の人口減少、常勤医師の減少及び患者の大病院志向により、患者延数、新患者数ともに減少し、令和2年度は平成20年度比で患者延数は約60%、新患者数は約64%減少している。
(外来) 地域の人口減少、常勤医師の減少及び地域の開業医増により、患者延数、新患者数ともに減少し、いずれも令和2年度は平成20年度比で60%以上減少している。

○経営動向

経常収支は平成16年度以降令和2年度まで17期連続の赤字となっている。



5 経営健全化の取組み

(1) 経営健全化の取組みの方向性

- ・ 西村山地域の基幹病院として、救急医療、急性期医療、地域包括ケア、緩和ケアなど、多様な医療機能を有するケアミックス病院である特長を活かしながら、地域連携の拠点となるHub機能をもつ地域密着型病院として、総合的な医療提供機能を強化し、経営の健全化の取組みを進める。
- ・ 病院機能見直しの中で、病棟・外来も含めた病院全体の医療提供体制を適切に見直す。

(2) 患者数に応じた診療体制の見直し

① 急性期病棟・地域包括ケア病棟

- ・ 近隣の医療機関や介護・福祉施設等との連携を進め、急性期病棟については、特に平日日中における救急患者や一時入院が必要な患者の受け入れに取り組み、地域包括ケア病棟については、他の病院を含めた急性期病棟からの転棟(転院)患者や在宅患者のレスパイト入院の受け入れに取り組み。
- ・ 引き続き地域の医療需要に合わせて、必要な病床数を検討する。
※令和2年度の病棟再編により、急性期病床を96床から60床に、地域包括ケア病棟を40床から50床とした。

② 緩和ケア病棟

- ・ 平成27年度の開設以来、病床利用率が非常に低い水準に留まっていることから、レスパイト入院等の特徴的な取組みや入院中の療養状況についての情報発信・患者増加策を講じ、病床利用率の向上を図る。その上で、引き続き地域の医療需要に合わせて、必要な病床数を検討する。

病棟別病床利用率の推移

病棟名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
急性期病棟	83.2%	79.2%	76.8%	82.5%	59.4%	72.7%
地域包括ケア病棟	75.9%	80.8%	91.7%	84.2%	76.3%	70.3%
緩和ケア病棟	47.0%	41.4%	41.9%	54.6%	33.8%	41.6%

③ 外来の診療体制

- ・ 外来診療だけで入院診療を行っていない診療科は患者数が少なくなっており、さらに、河北町内には、河北病院の外来のみの診療科と同じ診療科をもつ開業医があり、また、周辺3市にも開業医が多く集まっている。
- ・ 常勤医師不在の外来診療科については、周辺の医療機関との機能分担も踏まえながら、適切な外来診療体制となるよう検討する。

④ 健診機能の充実

- ・ 令和3年度から本格的に実施した人間ドックの利用者拡大を図るとともに、健診を契機とした外来・入院患者の確保に努める。

⑤ 救急外来の運用

- ・ 経営改善に加え、医師の働き方改革の推進のためにも、平日日中の救急対応を充実させる一方で、患者数が年々減少している深夜から早朝にかけての時間帯について、他の急性期病院とも連携・調整を進めて看護師配置など患者受入体制の見直しを検討する。

(3) 人員配置の適正化

- ・ 効率的な人員配置に向けて短時間勤務の看護師の配置の検討などを行うとともに、受付業務の見直しによる効率化と委託費用の削減に引き続き取り組む。

(4) 収益確保の取組み

- ・ 医療資源に見合う施設基準の取得や加算の算定率向上等による診療報酬制度への対応強化や、弁護士法人と連携した回収強化等の個人医業未収金対策の強化を図る。

(5) 費用削減の取組み

- ・ 時間外労働の削減、専門コンサルタントを活用した価格交渉強化等による医薬品や診療材料の調達コストの削減、委託業務の仕様の見直し等による契約金額の削減等の取組みを行う。

(6) 質の高い医療の提供等

- ・ チーム医療の推進、ICTの活用、患者中心の医療提供と患者サービスの向上等質の高い医療の提供や、医師をはじめとする医療スタッフの確保と職員の資質向上等を図る。

(7) 大学・地域の医療機関等との連携の推進

- ・ 大学や他の医療機関、介護・福祉施設等との連携を強化するとともに、今後の西村山地域の医療提供体制の議論を踏まえ、将来像の検討を行う。

(8) 収支計画(経常収支比率及び医業収支比率の目標)

項目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)	令和7年度(目標)
経常収支比率	81.3%	83.0%	96.1%	97.1%	99.7%	97.8%	96.8%
医業収支比率	58.0%	55.6%	50.3%	62.0%	67.2%	69.0%	71.3%